

移住者新聞

2024
Vol. 3

二〇二四年十一月
発行：日田市
商工労政課移住促進係

◆移住女子会

九月十五日（日）に移住女子会が開催されました。毎回好評なイベントで、子供やスタッフを含む十八名が参加し、カフェビヨリでおいしいランチを楽しみながら、移住者同士交流を深めることができました。

自己紹介の中で、この女子会に参加するかどうか迷ったけど、繋がりがづくりのきっかけになればと勇気を出して参加した方もいました。また、「いろいろな方とお話をしたかった。日田のことを知りたい。」と会を楽しみにしていた方が多く、参加後のアンケートでは、「皆さんとても親切で、日田にはどんな方が住んでいるのか、どんな風に過ごしているのかを詳しく知ることができた。移住者同士、同じ悩みを持つ方と共感できて、「私だけじゃないんだ」と思えた。」と感想をいただきました。

交流会終盤は、皆さんの中に一体感が生まれていました。この会を機に、繋がりが続くことを願います。



今回は、移住促進に関するフェアや移住者交流会、体験ツアーを盛り込んだ紹介号を発行しました。普段どのような形で移住希望者や相談会を開催しているのか、少しでも知っていたら幸いです。読者の皆様やお知り合いの方にも日田市の取り組みを是非お知らせください。

◆ふるさと回帰フェア



九月二十一日（土）・二十二日（日）の二日間にわたって、東京国際フォーラムで行われた国内最大級の移住相談イベント「ふるさと回帰フェア2024」に参加してきました。

日田市は日曜日のみ相談ブースを設け、十五組二十九名が相談にいられました。漠然と移住を考えている人、大分県のどこかで移住を検討している人など様々でした。今回の相談者のうち五組は日田市への移住を考えていました。日田を知ってもらうための「宿泊補助制度」の利用が可能であることを勧めると、ほとんどの方は「来てみたい」と前向きに検討される方が多かったです。



バックナンバーはこちら

◆移住体験ツアーinまえつえ

先着
20名



有機農業を、知る！やる！食べる！

日田市移住体験ツアー inまえつえ

ナビゲーター
日田市役所 日田地域づくり協力隊
鹿野ファーム 鹿野 晴さん

申込み二次コード
QRコード

日田市への移住を検討中の方！必見!!

日にち：10月13日(日)～14日(祝)
集合場所：日田市役所(日田市田島2丁目6-1)
参加費：無料(一部実費負担あり)

申込み方法：お電話または二次コードより(9:30 締め)
NPO法人リエラ(平日9:00～17:30) ☎090-1452-4110

主催：NPO法人リエラ
共催：日田市 農工務課

十月十三日(日)・十四日(祝・月)

に移住体験ツアー「inまえつえ」(NPO法人リエラ受託事業)を開催しました。今回は、前津江町在住で元地域おこし協力隊の鹿野さんご指導の下、有機農業に触れる体験が行われました。初日は好天に恵まれ絶好の稲刈り日和でした。大分市と東京都からの参加者は、地元の方たちと共に穂がたわわに実った稲を鎌で刈り、藁で結んで束にしたものを掛け干しする体験をしました。鎌を使った初めての作業に参加者もぎこちない手つきでしたが、数をこなすにつれて慣れていったようです。中として作業していました。



その間、田んぼに持ってきた羽釜に子供たちが火をつけて、新米の羽釜ご飯を炊きました。出来上がったご飯は香ばしい香りで、ふっくらおいしく炊き上がり、この後の交流会でおいしくいただきました。



交流会では地元の「やませみ」さんが準備してくださった「おくunchi料理」を頂きました。ツアー参加者は「地元の方と交流でき、お料理も美味しかったです。」と喜んでおられました。

二日目は、手作り堆肥を土壌にした苗植えを体験しました。この日は以前から鹿野さんの有機農法に興味がある移住希望者の方が参加しました。

まず、平嶋牧場の堆肥工場を視察しました。牛糞と菌床しいたけの廃菌床を配合した循環型農業を目指し、堆肥の販売も始めたとのこと。平嶋さんからも牧場経営や農業の課題、実情などをお話いただきました。



体験では、鹿野さんの畑に白菜、ターサイ、からし菜を定植しました。参加者の方は普段から農業体験によく参加しているとのこと、手慣れた様子でした。お話をする中で、娘さんも農業に従事しているので、この体験会に連れてきたかとおっしゃってました。今後も鹿野さんとながりをもち続け、移住を前向きに考えたいとのことでした。

今ツアーは予定より少ない参加者と

なってしまいましたが、お一人お一人に寄り添った内容で体験&交流ができた充実したものになりました。

